

修学旅行を振り返って ～生徒作文より～ パート1

一日目は羽田空港に行きました。弁当がとてもおいしかったです。その後スカイツリーにいきました。展望デッキから見る景色がすごく都会で輪島と全然違いました。緑があまりなくて、ビルがたくさんありました。お土産のデザインがとてもよかったです。また、エレベーターの装飾がすごいと思いました。五時くらいに幕張ホテルで夕食を食べました。食べ物はあまり口に合いませんでした。オレンジジュースとデザートがおいしかったです。夜は幕張イオンモールでネタを見ました。テレビで見る人を生で見られてとても新鮮でした。出てきた全員が面白くて笑い疲れました。そしてオリエンタルホテル東京ベイに行きました。ベッドが気持ちよかったです。4人で泊まれてとてもよかったです。



修学旅行で一番心に残ったことは自主プランです。やっぱり自分達で最初から最後まで調べていたので何としても成功させたいと思いました。2日目の朝はすごくワクワクしていました。一日中楽しいことばかりで前の日はあまりよく眠れませんでした。最初は国立博物館へ行きました。ものすごく詳しく大昔のことが書かれていたり、恐竜や魚の模型もたくさんあってすごく驚きました。次は東京駅へ行くのですが、そこへ行ったり、券を買うのがすごく大変でした。東京駅へ行き、着いてから見たのは昔ながらの内装でした。外へ出て見たのはあこがれていた東京駅の外から見たレンガがたくさんあるとてもきれいな駅でした。少し傷があったりして歴史を感じました。みんなで集合写真を撮りたかったのですが、みんな忙しそうで話しかけずらく困っていたら、家族連れの外国人の方が話しかけてくれて、一緒に集合写真を撮りました。そのとき、習っていた英語を話すことができました。とてもうれしかったです。



私は、東京とはどんな所なのか全然わかりませんでした。東京といえば大都会という印象だけでした。でも、修学旅行を通して、東京はどんな所なのかと色々なことに気づきました。自主プランで行った神田万世橋と明治神宮は周りの風景と一変して個性豊かな場所でした。大都会にも昔を感じられる場所があると分かり、東京の印象が大幅に変わりました。東京では、マナーが守られていませんでした。原宿の道を歩いていると誰かが食べ残したアイスを踏んでしまう災難が起きたからです。おかげで、靴や靴下が汚れてしまい大変な目に遭ってしまいました。このことをきっかけにルールやマナーを重視するようになりました。電車ではできるだけ立って他の人を優先させたり、ゴミはゴミ箱といった小さなルールやマナーに気をつけるようになりました。私は二泊三日の修学旅行でルールやマナーを意識し、視野を広げ、仲間とつながり連



帯感を深めることができました。そしてこの体験をいかして、次に東京などに来たときは、これよりも、もっと楽しめるようにしていきたいです。

一日目は話を静かに聞けたし集団行動もちゃんとできたと思う。けど、夜に全く寝れないし、しかも朝早くに起きてしまって大変だった。二日目は、自主研修で班の人と色々な所へ行った。電車とか移動を考えたりとか班の人と協力してできたと思う。カメラを持ってきたから、写真を撮ったりとかいろんなものを買ったりとか楽しかったけど、人が多くて大変だった。その後にディズニーに行った。友達がスペースマウンテンに行きたいと言って、反対方向に行っていたので面白かった。僕はジェットコースターとか少し苦手だけどスペースマウンテンに乗って見たら意外と楽しかった。突然右とか左に行ったり、ベルトが落ちない程度に空いていて、少し体が動いたりしてひやっとした。



今回の修学旅行は、3つの目的があった。まず、一つ目のルールやマナーを守めることは、しっかり守ることができた。服装や飛行機、ホテル内のマナーを守り、他の利用客のことも考えて行動することができた。二つ目の視野を広げることも十分できたと思う。初めて自分たちで大都会の東京を移動して切符を買ったり、ややこしい駅の中で、電車を間違えずに乗ることができた。初めは、東京の中を自分たちだけで歩くのは不安だったけど、駅案内が丁寧だったのもあって道を間違えずにプラン通りに舞浜まで到着することができて、とても自信になった。

輪島とは違って人や車も多く、ビルもたくさんある都会の環境を体験することができ、田舎にはないものをたくさん学ぶことができた。

自由行動では上野駅から東京駅まで行く時間を余裕をもってとったはずだったけど先生のお話が終わって上野駅から解散する時間が思ったより遅くて、最初の電車からスタートが遅れてすごく焦りました。でも電車が分単位でたくさん走っていて、そのおかげで何とか着くことができました。東京駅では、行く前に行く場所を決めてあったから効率よく回ることができました。次にお台場に行くまで2つか3つくらい電車を乗り継ぎしなければいけなくて、でも班の人が助けてくれたり、何番ホームかとか調べていったから迷わずいくことができ、道に迷ったとき道を聞いたら想像以上に丁寧で優しく教えてくれたので、本当に親切で助かりました。

三つ目の目的は三学年として連帯感を深めることです。私は、何度か東京に行ったことがあったので、友達に教えながら行動することができました。他にも、自分の係の仕事だけでなく、友達係の仕事も手伝うことができたので、三つの目的もできたと思います。修学旅行に行く前は、正直楽しむだけだと思っていました。だけど、行ってみたら、知らないことばかりだったし、集合時間まで自由行動というのが多くて、楽しむだけじゃないということに気づかされました。でも、友達と声をかけ合ったり協力していく中で、修学旅行の目的がある意味がやっとわかりました。修学旅行で学んだルールやマナー、集団行動を、これからの学校生活だけでなく、大人になって社会に出たときにも生かしていけるようにしたいです。

